

第1回 学校評議員会議

日 時：令和5年6月22日（木）15：00～16：10

場 所：会議室

出席者：石場正樹委員・成田克彦委員・中村博幸委員・外崎浩司委員

竹谷校長・白戸教頭・高坂教頭・齋藤事務長・中畑教務部主任・佐藤生徒部主任・清野進路部主任・

安江渉外部主任・安田図書部主任・宮本保健部主任・野呂1年次主任・岩崎2年次主任・

村上3年次主任・中鉢教務部副主任

欠席者：岩月宏泰委員、藤公晴委員

司 会：白戸教頭

記録者：中鉢一美

配付資料

- ・令和5年度 第1回学校評議員会議要項
- ・令和5年度 第1回学校評議員会議資料
- ・学校評議員運営要領
- ・青森県立青森東高等学校グランドデザイン
- ・別添資料

内容

1 評議員委嘱状交付

2 校長挨拶

新型コロナの5類移行に伴って学校行事がコロナ禍以前の形態に戻りつつあり、本日は校内競技大会初日で生徒の元気な声が響いている。先日は県高校総体4年ぶりの開会式行進に参加した。日頃の生徒たちの努力が実り、東北大会や全国高総文祭に出場する部活動もあり、今後様々な場面で生徒たちのさらなる活躍が期待できる。来月中旬には、東高祭を入場制限なしで実施するため、ぜひ来場して生徒たちの活動を見てくださるようお願いしたい。本日は本校の教育目標や活動方針について忌憚のないご意見を頂き、学校運営に生かしていきたい。

3 学校評議員紹介・職員自己紹介

白戸教頭による評議員の紹介と職員の自己紹介があった。

4 学校経営方針等について

校長より学校経営方針、グランドデザインなどの資料を基に、重点目標と具体的方策を中心に説明があった。

5 本年度重点課題等について

別紙資料により、各分掌・年次主任から本年度の現状と課題、重点課題、課題の解決に向けた具体的方策についての説明があった。

6 学校評議員から

・石場委員から

教務部から学校ホームページの話が出たが、トップ画面のメニュー項目が多すぎる印象を受ける。それらをいざ開くと「準備中」の表示がでることが多々あるため、新着情報に各担当からの最新情報をまとめ、メニューを減らしてはどうか。

生徒たちの挨拶は大変良いので、非常に嬉しく思っている。

渉外関係では、同窓会が令和2～4年度は3年連続で中止となってしまったが、今年は9月2日(土)に開催を予定している。今年は57回目の開催だが32回生と33回生が、来年度の58回目は34回生と35回生が、その次の59回目は36回生と37回生がそれぞれ担当となり、60回目(38回生)からは単独年次担当となることをお伝えしておく。

・成田委員から

先ほど各主任から「コロナ禍の影響」という言葉が多く出てきたが、3年にも及んだコロナ禍の影響とは具体的にどのようなものだったのかを教えてもらいたい。あと、教育に関しては「家庭が基本」であり、いくら学校が頑張っても家庭が同調しなければ影響や効果は出ないと思っている。三者面談等で家庭との接点はあると思うが、それ以外に学校から家庭への呼びかけ等を行っているのか。

(村上3年次主任) コロナ禍の影響と言えば、つい最近まで体調不良は出席停止扱いになっていたこともあり、些細なことで生徒が学校を休みがちになったと感じている。他には、コロナ禍で学校行事の縮小化が起きたことにより、コロナ禍以前の各行事の実施形態を教員が思い出すのに苦労しているというもどかしい状況も見られる。家庭とのつながりに関しては、ベネッセのClassi(クラッシー)を導入したことにより、学校からの連絡や保護者からの欠席連絡をこのツールで効率よくできるようになったと感じている。

(宮本保健部主任) 保健部からも家庭へ呼びかけたいことがあるため、保健日より生徒用とは別に保護者用も作成し、家庭で話題共有してもらえるように工夫している。

(高坂教頭) コロナ禍の影響としては、昨年修学旅行に同行して気づいたのだが、集団行動慣れしていないからか、集合等における動きのスムーズさに欠けるという印象を持った。

(佐藤生徒部主任) 学校行事は先輩の動きを見て生徒たちが自ら学んだものだが、コロナ禍によりその連鎖が切れた形となった。教員も転勤や担当の入れ替わりにより行事等における過去の事例を知らない場合も多く、立案や対応に苦慮することがある。ただ、前例が正解という訳ではないのだから、それにとらわれることなく自分たちで考え、失敗することで学んでいってもらいたいと生徒たちには伝えている。

・中村委員

渉外部から、先日はこたて未来大学の見学を中心とする函館への研修旅行を行ったとの報告があったが、11人という参加者数は決して少ない数ではないと思う。

私の住む町会は道幅が狭く、それに加えて高齢者が多く住んでいる。そこを朝に生徒たちがスピードを出して通って行くのが現状である。もう少し余裕を持って登校してほしいと感じている。

1・2年生と異なり、3年生はもう進路決定に向けて時間がない状況である。ぜひ、生徒たちが全力を出し、悔いを残さないような指導をお願いしたい。

(安江渉外部主任) 仕事や費用面のこともあるので、参加者数がある程度絞られるのは仕方がないことだととらえている。参加者からは満足な内容だったとの声が聞かれた。

(佐藤生徒部主任) 新年度が始まって1年生の自転車事故が2件発生している。市内の中学校では自転車通学できるところが少ないため、自転車通学にかかる時間の読みが甘くて慌てている生徒も多いと思われる。また、自転車は左側通行ということを知らなかった生徒もいるため、今後折を見て指導していく。

(村上3年次主任) 春から担任と生徒は面談を行っており、夏季休業中には保護者も交えて三者面談を行う。学校と家庭が進路目標達成に向けて意思疎通を図り、卒業するときには悔いの残る生徒が一人でも少なくなるように学年団で努力していく。

・外崎委員

現3年生はコロナの影響が中学校時代から続いており、コミュニケーションを取りづらい環境を長期間経験してきた。以前の生活スタイルに戻りつつある今、先生方が足りないと感じている生徒のコミュニケーション能力や主体性をどう高めていくかが喫緊の課題であると感じた。一方で、ここ数年なかなか学校の様子を窺い知ることができなかつた中で、ホームページやClassiを通じて学校からの積極的な情報提供が確立したことは大変良かったと保護者の立場としてありがたく思った。私も教育は「家庭が基本」だと思うので、家庭が学校の実情をよく知って協力できるように、今年は東高祭が一般公開されるということだが、家庭が学校に入りやすい仕組みづくりをお願いしたい。

7 まとめ

評議員からの御意見・御感想に対して、校長より感謝の言葉があり、第1回学校評議員会議を終了した。

以上